

# 株式会社さんいちファーム



代表取締役  
瀬戸 誠一 氏

## ◆企業の概要

企業名：株式会社さんいちファーム

代表者：代表取締役 瀬戸 誠一

住所：名取市植松字豊田209

設立年：平成23年

業種：農業（葉物野菜生産・販売）

資本金：13百万円

従業員数：18名

## ◆事業の概要

東日本大震災の津波により被災した仙台市宮城野区の3名の農家が、東京の環境コンサルティング会社の協力のもと、共同で設立した農業法人。名取市の津波被害を受けた6,000㎡の土地に、レタス、ベビーリーフ、ルッコラ等の葉物野菜を通年栽培できる水耕栽培施設3棟を建設。平成24年5月30日に竣工し、同年6月より生産を開始。



水耕栽培施設

# 東日本大震災の津波による塩害被害を受けた土地で水耕栽培施設による植物工場を運営、安全・安心でおいしい葉物野菜を通年で栽培、復興ビジネスモデルを展開する農業法人として大きく期待



3名の発起人



スーパー販売



水耕栽培で発芽した苗



レタス

## ◆受賞の理由

当社を設立した3名の農家は、東日本大震災の津波により被災。塩害被害を受けた土地での農業再開や新たな資金調達、今後の事業計画等、多くの課題を抱え、個人での農業再開は困難な状況にあった。しかし、農業法人を設立し、塩害被害を受けた土地でも栽培可能な水耕栽培施設による植物工場の運営を企業と連携して行うことで、資金面、事業計画面、販路面等の様々な課題を克服。当社は、被災した農家が新たに農業を再開する復興モデルとして、各種メディアから高い評価を受け、注目を浴びている。

当社の水耕栽培施設は、採算性を高めるため、①ハウス全体を温度管理するのではなく、植物の根のみを温度管理する②雨水を有効利用し、循環・ろ過して継続的に使用する③水耕栽培施設の架台等を全て再生プラスチックで活用する、等を行うことで、イニシャル・ランニングの両面でコストを抑えた省エネ型システムである。

野菜は全て無農薬栽培であり、廃棄部分の少ない、葉圧のある歯ごたえがしっかりとした、おいしい野菜が栽培されている。栽培された野菜は、画一的な集荷業者向けの大量出荷といった従来の方法ではなく、収益性を高めていくために外食チェーン店やスーパー、一般消費者等に直接販売している。安全・安心でおいしい野菜を、季節や天候等の変動に関係なく通年で栽培すること、また、連携した企業の支援等による継続的な販路開拓により、不安定であった農業収入が安定的に確保され、さらに従来の販路に頼ることなく収益性のある販路を拡大していく姿勢は、農業の新しいビジネスモデルとして高く評価される。

当社は、被災した農家に希望を与えるとともに、被災地での雇用創出においても大きく貢献が期待される。高齢化や後継者不足が深刻な問題となっている農業分野で、新しいビジネスモデルを展開し、更なる飛躍が期待される企業である。